

PRESS RELEASE

2036年10月1日

報道関係各位

株式会社築 (Kizuki Co., Ltd.)

## 築、創業10年でアジア累計500棟の3DCP\*施工を達成

(3DCPとはコンピューター制御でコンクリートを積み重ねて建物を造る技術)

——「型枠を組む・左官職人を探す」建設から、「認定オペレーター1名がデジタルで建てる」建設へ



オペレーター1人がAIグラスでデータを確認しながら声だけで遠隔操作する傍らで、3DCPプリンターがコンクリートを積層していく。2033年の日常。

株式会社築（本社：宮城県栗原市、創業者社長：五十嵐理香）は、2023年9月の創業から10年を迎えるにあたり、これまでの事業実績を発表しました。3名・年商400万円からスタートした3Dコンクリートプリンティング（3DCP）の建設スタートアップは、2033年に日本・東南アジア10カ国で累計500棟超の施工実績を達成。また自社が運営する「3DCP Academy」では国内外の認定オペレーターが1,000名を突破し、建設業界における人手不足と技術格差の解消に向けた業界標準プラットフォームとして確立しました。

### ■ 背景：「型枠を組む・職人を探す」を、なくす10年

2023年の創業当時、日本の建設現場では鉄筋コンクリート構造物を建てるために、型枠大工が木枠を組む、コンクリートを流し込み、養生後に解体する工程が標準でした。作業の大半は熟練職人の経験と体力に依存しており、担い手の高齢化と人手不足が深刻化していました。一方、3DCPは機械がデータ通りにコンクリートを積層造形するため、型枠も熟練左官工も必要としません。しかし技術は存在しても、施工できるオペレーターが国内にほぼゼロであり、「機械はあるが、使える人がいない」という構造的な課題が業界全体を覆っていました。

五十嵐代表は、3DCPで家が建てられる映像をはじめて目にした瞬間の衝撃を、築の原点として語ります。「心が震えるほど感動した。でも自分で挑戦してみると、参照できる事例も、教えてくれる人も日本には存在しなかった。だったら、私が経験を積んで次の世代に教える仕組みを作ればいい——それがアカデミーの出発点でした」。

### ■ 取り組み：施工実績の積み上げと、アカデミーによる技術移転

築は創業直後から自社施工による実績づくりを最優先し、2025年には日本初となる2階建て3DCP住宅を完成・売却。「事例がなければ作る」という姿勢で積み上げた信頼のもとに、フィリピンの建設会社ONOCOMと海外展開契約を締結し、東南アジア市場への橋頭堡を確立しました。

並行して構築した「3DCP Academy」は、フォークリフトの資格のように、性別・年齢・国籍を問わず誰でも体系的に3DCP技術を習得できるプログラムです。2033年現在、卒業生はアジア全域で1,000名を超え、そのうち約4割が女性または海外国籍の受講者です。アカデミー卒業生が現地でオペレーターとして活躍し、さらに次の受講者を育てる——この自己増殖的な人材供給モデ

ルが、10カ国展開を可能にした構造的な強みです。

さらに 3DCP Academy は、技術教育にとどまらず、複数の海外 3DCP メーカーと総代理店契約を締結し、国内への機械販売と技術サポートを一括して担う機能も持ちます。3DCP 機械の製造元の多くは海外企業であり、導入を検討する建設会社が直接メーカーと交渉しようとする、言語の壁・時差・物理的な距離が障壁となり、トラブル発生時の迅速なサポートを受けることが困難でした。築はアカデミーで培った複数機種種の操作・整備ノウハウを活かし、特定メーカー1社に縛られない立場で国内窓口を担います。導入を検討する事業者は、築を通じて複数機種種を日本語で比較・検討でき、購入後の技術サポートも即座に受けられます。「教える会社だからこそ、どの機械が現場に合うかを中立に判断できる」——このポジションが、築のアカデミー事業をただの教育機関ではなく、3DCP 産業全体のインフラとして機能させ、ユーザーが自由な選択と自立ができるようにする取り組みです。

## ■ 現場の記録



## ○ ■ 数字で見る 10 年

- ・施工実績数：日本初2階建て3DCP住宅1棟→累計500棟超（日本・東南アジア10カ国）
- ・年間売上げ：400万→30億円
- ・事業展開エリア：宮城県→日本+東南アジア10カ国
- ・3DCP Academy 認定者数：構築中→1,000名超（うち約4割が女性・海外籍）
- ・従業員数：3名（うち海外籍1名）→150名（うち海外籍約3割）

### ■ 代表コメント（五十嵐 理香／代表取締役社長）

「映像の中で3DCPが家を立てていくのを見た瞬間、全身が震えるほど感動しました。すぐに自分で試してみましたが、日本に前例はなく、聞ける人も、見られる現場もなかった。それでも進んだのは、建設の概念そのものをアップデートしたかったからです。建設は、これまで体力・経験・性別によって『できる人』と『できない人』が分かれてきた世界でした。でも3DCPとアカデミーがあれば、フォークリフトの資格を取るように、誰でも学んで現場に立てる。次の10（年も）変えませんが、機械が進化し、ITが進化するように、使う側も学び続け、建設の世界をアップデートし続けていきます。」

### ■ 会社概要

社名	株式会社築（Kizuki Co., Ltd.）
設立	2023年9月
本社	宮城県栗原市
代表取締役社長	五十嵐 理香
事業内容	3Dコンクリートプリンティング（3DCP）による建設施工、3DCP Academy（技術者育成・認定）、3DCP 建材・資材開発、海外フランチャイズ展開
施工実績（2023年現在）	累計500棟超（日本・東南アジア10カ国）
3DCP Academy 認定者	1,000名超

Future Pressrelease from IWATE / チャグチャグいわて PR プロジェクト 2026

ENTRY DEADLINE: 2026年5月17日（日） FINAL: 2026年5月31日（日）盛岡市キオクシア アイーナ

CONTACT: chaguchagu-iwatepr@prt看es.co.jp